

(2): 96~113.

5) 水野瑞夫他. 1975. 奥美濃のブナ林について. 長野県植物研究会誌 8, 67~76.

6) 鈴木時夫. 1952. 東亜の森林植生 137 pp. 古今書院.

7) ———. 1966. 日本の自然林の植物社会学体系の概観. 森林立地 8(1): 1.

8) 鈴木兵二・豊原源太郎. 1974. 佐々木好之編, 植物社会学. 共立出版.

9) Tôhei Dot and Kinichi Morikawa. 1929. An Anatomical Study of the leaves of the Genus Pinus. Journal of Department of Agriculture, Kyushu Imp. Univ., 2(6): 96-113

10) 吉岡邦二. 1958. 日本松林の生態学的研究. 日本林業技術協会

---

〔植物ニュース〕 6. ツリシュスラン *Goodyera pendula* Maxim. 県下では奥原氏が「木曽谷の植物」で報告しているが、下伊那郡南信濃村でも発見された。横内文人, 昭和49年8月5日採集。 (横内 斎)

7. ミタケノイバラ *Rosa multiflora* f. *glabrescens* (Honda) Sugimoto 県下では奥原氏が「木曽谷の植物」で報告しているが、北安曇郡小谷村戸土でも発見された。横内斎, 横内文人, 昭和50年6月30日採集。 (横内 斎)

---

〔新刊紹介〕 佐久教育会編「信州佐久の植物」 昭和50年1月20日 佐久教育会発行

菊判 写真9頁 全516頁 別に模造紙全紙大色別植生図添付

内容は Ⅰ植物総論—環境と研究史・植物分布・植生・佐久で発見された植物 Ⅱ植物と人生—植物の利用・帰化植物・植物と民俗 Ⅲ天然記念物 Ⅳ鑑賞植物 Ⅴ植物目録 Ⅵ佐久の植物研究者と文献 となっていて植生に比較的多くの頁をとり大判の植生図を添えてあるほか、特別なものの56種については分布図を掲げているのが特徴である。佐久には高山植物の宝庫八ヶ岳があるほか北の浅間山麓、南の川上方面など特徴ある植物相をもった所があって、ヤマタバコ・ハナヒョウタンボク・キバナウツギ・グンバイズル・オオスズメウリ・オオビランジ・ツキヌキソウ・ヒメマツカサススキその他多くの珍種を産し極めて興味深い所である。したがってこの出版は長く待望されていたものである。この書は佐久地方の教育・文化・産業その他に役立つと思うが、長野県の植物を研究する上に重要な資料となるものと考え。 (H. O. 生)